

社会福祉法人熊本市社会福祉協議会
令和8年度第1回評価検証委員会議事要旨

期日 令和8年5月26日（火）

場所 熊本市健康センター新町分室 2階 多目的室

社会福祉法人熊本市社会福祉協議会令和8年度第1回評価検証委員会議事録

開 催 日 時 令和8年5月26日（火曜日） 10時00分から

開 催 場 所 熊本市健康センター新町分室 2階 多目的室

委 員 定 数 6名

出 席 委 員 4名 ※敬称略
鳥崎 一郎 高江 康明 門岡 秀宜 中川 和徳

欠 席 委 員 2名 ※敬称略
田辺 正信 荒木 紀代子

協 議

令和7年度中期経営計画進捗管理及び評価検証について

《議事の経過とその要旨》

大淵主査より開会宣言。中川委員長挨拶の後、評価検証委員会設置要綱第4条第1項の規定により中川 和徳 委員長が議長に就任し、審議に入った。

議 長

それでは、これより議事に入ります。

令和8年度第1回中期経営計画進捗管理及び評価検証について、事務局より説明をお願いします。

事務局長

令和7年度中期経営計画の進捗管理および評価検証についてご報告いたします。本計画は「誰もが安心して暮らせる地域づくり」の実現に向け、令和7年度から9年度までの3カ年間で取り組むものです。本日は初年度の進捗状況と今後の取り組みをご説明します。評価検証シートの通り各部門で評価を行っており、「施設・介護サービス部門」の今後の運営方針は6月の理事会等で説明しますが、施設長等も出席しておりますのでご質問があればお受けいたします。それでは各担当部より特徴のある項目について、報告いたします。

総務課長

法人経営部門についてご説明します。6つの推進目標を4段階（A～D）で評価しています。資料5ページ「所属長管理体制強化による時間外勤務の削減」は月平均が前年度比マイナス7.4%と目標を達成し定量評価はAですが、事務所間の格差から定性評価はBとしました。資料8,9ページ「人材確保・育成・定着支援」では、社会福祉主事資格の取得や全職員への育成面接の実施をA評価とした一方、メンタルヘルス対策等は他業務の優先からC・D評価となり、今後要綱整備を進めます。資料11～14ページ目標(3)・(4)「財源確保」、「正会員・賛助会員制度」では、基金の国債買い替えによる収益向上をA評価とした一方、オンライン会費納入等の検討は遅れ、今後調査を進めます。資料15ページ目標(5)「行政とのパートナーシップ」は、毎月の定例会で情報共有を図りB評価としました。資料18ページ目標(6)「広報活動と情報の発信」は広報紙発行やパンフレット完成をB評価とし、今後は動画完成やSNS活用に努めます。以上で報告を終わります。

地域福祉部長

地域福祉推進部門についてご説明します。資料22ページ目標(1)「住民主体の福祉活動を推進する組織づくり」では、全95校区での行動計画策定を達成しA評価としました。今後は順次計画の見直しを行います。資料24～33ページ目標(2)「住民主体による福祉活動の推進」では、サロン活動のマンネリ化解消に向けてレクリエーション用具の活用、eスポーツ導入にも積極的に取り組んだほか、豪雨災害で縮小したボランティア週間事業の実施、高校生ワークキャンプの体験学習再開などに取り組みました。また「福祉教育」では、出前講座の受講者が目標を上回る4,343名に達しました。「災害支援体制」では、8月の豪雨災害でボラセンを設置し、協定や民生委員との連携に助けられた経験からマニュアル改訂や体制強化を進めます。資料34～35ページ目標(3)「個別支援と地域づくりの一体的な展開」では、関係機関への積極的参加をA評価とし、大学や企業との連携による地域貢献も図られまし

た。資料 36～37 ページ目標(4)「地域福祉計画・地域福祉活動計画」では、初めて事業評価検証検討会を実施し課題を共有しました。以上で報告を終わります。

生活支援部長

生活支援推進部門についてご説明します。資料 38～40 ページ目標(1)「包括的な相談と支援」では、窓口整備において SMS を活用し相談件数が約 2 割増加しました。また生活困窮者等への伴走支援や訪問による見守り体制を強化しました。資料 41～43 ページ目標(2)「相談支援業務のマネジメント」は総合評価 B とし、社内での情報共有や外部専門職の助言によるチーム支援、情報システムの導入を進めました。資料 44～45 ページ目標(3)「多機関協働の推進」も総合評価 B とし、関係機関との連携会議等を通じて複合的課題への対応や住まいに関する協働に取り組みました。資料 46～47 ページ目標(4)「権利擁護支援の体制整備」は総合評価 A とし、行政や専門職との定例会による適切な個別支援や、成年後見支援センターの運営、第 2 期計画に基づく利用促進を進めました。以上で報告を終わります。

議 長

ただいま、事務局より説明がありましたが、何かご質疑はございませんか。

高江委員

事業は全体として順調ですが、介護保険事業の M&A 費用が心配です。また、メンタルヘルス対策に関連して現在休職者はいるのでしょうか。

事務局長

厳しい経営を踏まえコンサルタントによる経営診断を行ったプロセスを A 評価としました。M&A は交渉中であり、詳細は 6 月の理事会等で説明します。

総務課長

ここ数年、当法人に休職者は出ていないと把握しています。ストレスチェックの義務化を見据え対策を講じるとともに、相談しやすい環境づくりによる未然防止に努めます。

門岡委員

資料 17 ページにある「行政が求める成果に対して、職員体制が見合っていない事業」とは具体的に何でしょうか。

事務局長

特定の事業ではなく現場である 5 区事務所の体制のことです。時間外勤務が依然として多いため、今後は業務のやり方や体制を見直していくべきだと考えています。

門岡委員

組織全体のこととして理解しました。
全 95 校区での行動計画策定後、令和 8 年度は 23 校区が見直しを予定していますが、地域側の負担軽減策についてどのようにお考えですか。

地域福祉部長

ゼロから見直すのではなく、既存の計画をベースに 5 年間の達成状況や新たな課題に着目して進めます。進め方も各校区の意向に寄り添って支援します。

門岡委員

行政としてもできることがあれば対応し、お互いに協力していきたいと思います。

鳥崎委員	私の校区でも見直しを行いました、地域住民が集まり話し合えた効果は非常に大きかったです。質問ですが、今回の評価において、数字として捉えられる項目はもっと積極的に定量評価を行ってはいかがでしょうか。
事務局長	ご指摘の通り、まだ数字に落とし込める部分があります。次回の委員会ではより分かりやすく成果が伝わるよう、資料の構成や表現を工夫してまいります。
議 長	客観的に評価しやすいよう、今回の意見を検討して資料の整備を進めてください。
高江委員	社会福祉士会としても協力体制を整えたいと考えており、第一線を退いた専門職などの人材活用も含めて今後話し合いができれば幸いです。
鳥崎委員	今後の法改正により成年後見のあり方が大きく変わる見込みです。社協としても法改正の動向を研究し、実情に合わせて運営できるようお願いします。
生活支援部長	法人後見は専門家が参画する運営委員会で学び、支援センターについても市と定例会を開催して協議を重ねており、今後も事業に反映させてまいります。
門岡委員	評価 D となっている「オンライン会費納入システム」について、住民から具体的な要望の声は届いているのでしょうか。
総務課長	直接の声は届いていませんが、会費収益が伸び悩む中、多様な納入方法を検討していく必要があると考えております。
門岡委員	他社協の事例も調査し、実際のニーズを把握した上で費用対効果も含めた見通しを立てて進めてください。
鳥崎委員	市社協が経営基盤強化を課題に掲げざるを得ない現状には釈然としない思いがあります。現場の職員数が少なく関わりきれていないため、もっと予算や人員を投入すべきです。
門岡委員	運営費の補助を出していますが、予算全体の調整があるためすべてを網羅することは難しいのが現状です。優先度の高い部分からご要望いただければ極力交渉します。
議 長	行政と緊密に連携・協議を重ね、体制や経営基盤の強化につなげてまいります。委員の皆様のご意見も今後に活かします。他にございませんか。

【質疑・意見なし】

議 長

皆様、貴重なご意見をありがとうございました。今後の計画推進に反映できるよう努めてまいります。それでは「その他」に移りますが、委員の皆様から何かございませんか。

【意見等なし】

議 長

それでは事務局より何かありませんか。

事務局長

6月の理事会・評議員会にて本日の結果を報告します。その際、本日ご出席の鳥崎委員、高江委員にはそれぞれの立場からご意見やご感想をいただきたく存じます。

議 長

それでは、これを持ちまして、議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

司 会

委員長、議長をお努めいただきありがとうございました。以上を持ちまして、令和8年度第1回評価検証委員会を閉会いたします。